

災害に関する文書を読む

史料 乙卯〔安政二年（一八五五）〕十月十二日 安政大地震江戸の様子二付書状

【林家No.八九八四】

此書は江戸の地震の様子を記した書状の二通である。右の一通は、
 地震発生後、江戸に到着した際の様子や、被害の状況、
 被災者の苦情などを記している。左の一通は、
 江戸の町並みや、被災者の生活の様子を詳しく記している。
 書体は、江戸時代末期の書道の特徴的な「肥後流」の草書である。

以私心をすして公心を
行ふ事は公心を以て公
を以て公を以て公を以て

行ふ事は公心を以て公
を以て公を以て公を以て

行ふ事は公心を以て公
を以て公を以て公を以て

行ふ事は公心を以て公
を以て公を以て公を以て

行ふ事は公心を以て公
を以て公を以て公を以て

行ふ事は公心を以て公
を以て公を以て公を以て

行ふ事は公心を以て公
を以て公を以て公を以て

情態 日年海側是
十月十一日 留田
...

十月十一日

留田
...

村信海是
...

(後略)